

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

●はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



注 意

1. ガソリン等の揮発性剤には使用しないで下さい。
2. 冷却水注入作業以外には使用しないで下さい。(冷却水抜取作業には使用しないで下さい。)
3. エンジンと冷却水が冷間状態でご使用下さい。冷却水温 30℃以上で作業しないで下さい。
4. 水道水、LLC (自動車メーカー指定品) 以外使用しないで下さい。
5. エアーホース接続前に、負圧計の針がゼロ位置にある事をご確認下さい。
6. 負圧計が安定しない場合は、使用しないで下さい。
7. コーンプラグを使用する際は、注入が終わるまで車両の注水口に押し付け、保持して下さい。
8. 作業が終了したらエアーホースを取り外して下さい。
9. 入力されるエアーは水分を多量に含んでいると、発生負圧が上限に達しなかったり、到達後針が戻る場合があります。該当する症状が出たら、ご使用のエアーコンプレッサーの水抜きを十分に行ってください。



※エンジン及びラジエターが熱い時は絶対に作業しないでください。やけどをします。十分に冷えた状態で作業してください。

使用時は、エアコンプレッサーのエア圧を 0.6 ~ 0.8MPa (6 ~ 8Kg f/cm²) でご使用ください。エア圧が高いとラジエターを破損する恐れがあります。

使用する車輛のホース類の劣化がひどい場合は破損する場合があります。御使用をお止めください。

作業前の準備

車輛のラジエター内の冷却水はドレンコック等より完全に抜いた状態にしてください。

抜き終わったらドレンコックは閉めてください。

新しく注入するLLCをお手持ちのバケツ等に多めにご用意してください。



冷却システム内の真空引き

- 1) 車輛のラジエターにラジエター用アダプターを差し込み、しっかりと手で押さえます。
※ラジエターのリザーバタンクへ接続されているホースからエアを吸い込む場合はホースピンチャー等でホースを閉じてください。



- 2) 本体に新しい LLC 吸い上げ用ホースを接続します。本体青色のホースにラジエター用アダプターを接続します。排気口に排気口用ホースを接続します。エアの接続前にコック 1 とコック 2 を左の写真のように閉じてください。ON,OFF スイッチを OFF にしてください。



吸い上げホースの先端はバケツの中に完全に浸してください。

- 3) 車輛のラジエターにアダプターを差し込み、しっかりと手で押さえます。新しい LLC 吸い上げホースの先端を新しい LLC を入れたバケツに浸します。(途中でエアを吸わないようにしてください。)



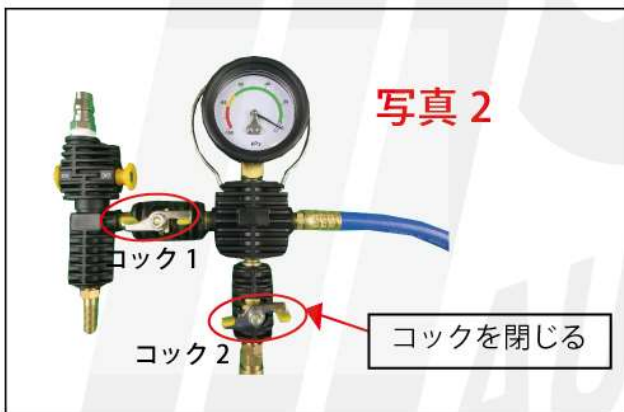
4) 車両のラジエターにしっかりとセットしたら、吸上げホース内のエア抜きをします。
 エアコンプレッサーからのエアを接続します。
 コック1を開きます。
 LLC吸上げの為コック2を開きます。
 ON,OFFスイッチをONにします。(写真1)
 LLCが吸上がり排出口から排出されホース内にエアが無い事を確認したらコック2を閉めます。
 (写真2)



注意！！ (写真3)

エアをONにするとすぐにLLCを勢い良く吸上げます。一瞬で排出口からエアとLLCが噴出します。排出口に排出口用ホースを接続して車両や人にかからない様に排出口を下に向けコック2をすぐに閉める事が出来るような状態で作業を行ってください。

排出口からLLCが排出されてホース内にエアの混入が無い事を確認してコック2をすぐに閉めてください。
 エア抜き不足の場合車両のラジエターにLLCを注入する時にエアが混入して吸上げ不足になります。



そのまま車両ラジエターの真空引き作業を行います。
 ラジエター内の空気を吸い上げて真空にして行きます。



排出口からLLCが噴出します。危険ですのでホースを接続して車両や人にかからないようにして作業を行ってください。

※負圧計の針がぶれて針が上がらない時は、エアを吸って真空になっていません。本体接続部がしっかり密着しているか確認してください。
 車輛のラジエターのドレン及びホース等が外れていないか確認してください。
 冷却システムにクーラントの漏れがある時も真空になりません。



5) 負圧計の針が 60 ~ 70 kPa に達したら
 コック 1 を閉めてください。次にスイッチを OFF
 にしてください。次にゆっくりとコック 2 を開きます。
 バケツ内の LLC を吸い上げてラジエーターに注入します。
 空気が混入しないように注意してください。
 空気を吸った場合、初めからやり直しになります。

※クーラント注入中に吸い上げ部分が
 クーラント液に浸かっていると
 システム内にエアが混入します。
 エアが混入した場合は、初めからやり直して下さい。

6) メーターが正圧 (0) になったら、クーラントの注入は完了です。
 完了後コック 2 を閉めてください。コック 1 を開いて
 残圧を開放してから本体をラジエーターから取り外してください。

適合アダプター (別売)

NO.	RADIATOR CAP APPLICATION
0	Thermometer
1	Pressure Testing Pump With Gauge
2A	Connector R123/R124(Black color)
2B	Connector R123/R125(Blue color)
3	Mercedes Benz(W123 - W126 - W124 - W201) GM(Buick) Jeep
4	Peugeot Subaru Chrysler Acura GM (Nova, Spectrum, Sprint) Mitsubishi Nissan Mazda Toyota Infiniti GEO Suzuki Isuzu Mercedes Benz
5	Honda Toyota Suzuki Mitsubishi Chrysler Acura Lexus

NO.	RADIATOR CAP APPLICATION
6	Mercedes Benz (ML-class - W163 - W164) GM(achiva - skylark - grand am-1992-2002)
7	Volvo Saab Sterling Citroen Renault Fiat Alfa Jeep Mini
8	VW(Vento - T4 - Passa-1996 - Golf - Beetle - Sharan)
9	Audi (A4 - A5 - A6) BMW 345 VW (Passa-1997-2002) Porsche (Cayenne)
10	BMW (E46 - E36 - E34 - E39 - E38 - E32 - E90)
11	Audi VW
12	Ford Mondeo International Land Rover Opel Ssangyong motor
13	Mercedes Benz (C-class - E-class - S-class - W140 - W220 - W124 - W210 - W211 - W215 - W216 - W221 - R230)
14	Ford Mondeo,Focus,C-MAX03
15	Mazda(M3)
16	Mercedes A-class (W168)
17	BMW E60 E63 E64 E65
18	VW SHARAN 1.8T2.8
19	TOYOTA-RAV4, PREVIA
20	SAAB